

## 第2回 飯山市旧4小学校利活用ビジョン検討市民会議

令和8年（2026年）3月31日 開催 13:30 ~ 15:30

### 議事録概要版

#### 会議概要

今回の会議では旧4小学校の利活用ビジョンについて、多岐にわたる観点から議論が展開されました。会議では移住促進、子育て支援、観光活性化、農業振興、地域おこし協力隊活用など様々なアイデアが提示され、人が集まり、地域の活力を生み出すためには具体的な仕組みと実行力が不可欠であるという認識が共有されました。また地域の特性を生かしたまちづくりについて、行政・民間・市民連携の可能性を模索する議論が中心となり、今後は具体的な事項や役割分担の明確化が進められることが期待されます。

#### 【熱量と議論の重要性】

田中委員長は挨拶で、前回の会議や事前メモから感じられた参加者の熱量と積極性に感謝を述べ、多様な意見を取りまとめる力が地域の発展に繋がることを強調しました。また、議論が実現に結びつくことの重要性を指摘し、参加者に自由な発言を促しました。

#### 【参考資料としての他自治体の事例】

千葉県流山市と静岡県長泉町の事例が紹介され、それぞれ交通アクセスや子育て支援、財政の安定などが人口増加の要因であるとの説明がありました。これらの事例を飯山市でどう活かすかが議論の発端となり、施策アイデアが模索されました。

#### 【飯山市の強みと可能性】

参加者から出された意見では、北陸新幹線飯山駅がある交通アクセスの良さや豊かな自然・風習などが飯山市の強みとして挙げられました。一方で、寒冷地特有の課題も指摘され、幅広い視点からの解決策が議論されました。

#### 【移住促進と安定した生活環境】

人口減少を食い止めるために移住者受け入れを促進するアイデアが出されました。在宅勤務や移住手当の導入、親しみやすい住居環境の整備、2次交通への配慮などが議論され、移住者が安心して住むための支援体制の重要性が確認されました。

#### 【観光と通年型雇用の可能性】

観光業と通年型雇用の両立についても議論されました。特にグリーンシーズンでの農業体験、星空観察など、都市部では得難い体験の価値を高める必要性が提案されました。また観光施設やインバウンド対応の充実が求められる一方、観光に依存しすぎると雇用が不安定になる点が課題として指摘されました。

#### 【子育て支援と活性化センター構想】

子育て世代の住みやすさを向上させるための児童館や遊び場などの整備が提案されました。無料で利用できる施設や行政運営による公正なサービスが求められ、保育士不足に関する懸念も重要な課題として浮上しました。

#### 【農業振興と教育連携】

農業体験や市民農園の活用による地域活性化のアイデアも出されました。農地法に基づく制度整備や、農業技術を教える学校の設置などが議論され、教育と観光・移住が結びついた施策の可能性が示されました。

#### 【地域おこし協力隊の課題と可能性】

地域おこし協力隊については、十分に課題解決に繋がっていないとの指摘がありました。提案型の活動が多いことや、支援終了後の継続性が課題となっており、より具体的に地域のニーズに応じた活動にシフトすべきという意見が出されました。

#### 【公共・民間連携による運営体制】

公民連携を活用すること、SPC（特定目的会社）やふるさと納税の活用、クラウドファンディングによる財源確保など、地域振興に向けた運営体制についても議論の幅が広がりました。公益性と収益性を両立させる仕組みについての専門的な検討の必要性が浮き彫りとなりました。

#### 【住民参加型の推進体制】

最後に、住民参加型の体制を構築する重要性が認識されました。議論の中で、行政による一方的な提案ではなく、市民や関係する団体と密接に連携しながら、地域の課題を解決する方法を模索していくことが求められました。